

令和3年度 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和 4年 1月28日

協議会名: 桐生市地域公共交通会議

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

| ①補助対象事業者等 | ②事業概要 | ③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況 | ④事業実施の適切性 | ⑤目標・効果達成状況 | ⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む) |
|-------------|------------------------------|--|---------------------------------|---|--|
| 株式会社沼田屋タクシー | 黒保根町デマンドタクシー (運行区域:黒保根地区) | <p>・運転免許証を自主返納した方に対して、デマンドタクシーの回数券などを無償で交付をしている。令和3年度から交付数を増やし支援の充実を図っている。</p> <p>・わたらせ渓谷鐵道においても、運転経歴証明書を取得した全国の方に対して、普通運賃の50%割引を実施しており、行政、鉄道事業者ともに、移動の利便性の向上を図るための施策などを継続的に実施している。</p> <p>・黒保根町内の高齢者の憩いの場として水沼温泉センターを利用する方へ運営会社の協力を得てデマンドタクシーの利用を周知・促進し、新規利用者の増加を図った。</p> <p>・利用者の移動実態を把握し、人々の生活を捉えた交通サービスとなるよう、年齢階層別、時間帯別等様々な視点からの利用状況に関するデータの収集・蓄積を継続的に実施しており、黒保根支所と連携して、観光で訪れた方々のほか「田舎暮らし」「移住定住」事業などのPRの際にも利用促進を行っている。</p> | A 事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。 | C <p>事業が計画に位置付けられた目標を達成できなかった。</p> <p>【理由】</p> <p>・昨年度の1日平均利用者は19.7人であったのに対して、今年度は14.6人という結果であり、目標である20人/1日に対し、大幅に利用者が減少している。このことは、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う外出自粛及び中学生の部活動中止期間の長期化・観光客の減少によるものと考ええる。また、水沼診療所が休診中であることも利用者が減った要因と思われる。</p> <p>・利用者の約半数が高齢者・障害者・中学生などの交通弱者であり、デマンドタクシーが幅広い年齢層の日常生活に必要な移動手段を安定的に確保することができているものと考えられる。また、わたらせ渓谷鐵道水沼駅に接続されるものが大半であることから、幹線を結ぶ支線としての役割を果たしており、町外への交通手段は確保されている。</p> | <p>・運行事業者から報告される日報などから利用状況を分析し、利用実態を把握することを継続して行い、現在休診となっている水沼診療所の再開業の際に、デマンドタクシー利用促進の記事を公民館だよりに掲載するなどして、周知を図る。</p> <p>・運転免許証自主返納者に対し、黒保根町デマンドタクシーの回数券を交付する支援事業を継続して行い、市民が家用自動車に頼らずとも生活できる環境整備に努める。</p> <p>・現在、安全かつ安心して利用してもらえるよう車両の更新を進めており、新型コロナウイルス感染防止を徹底し利用促進を行い、さらに今後は、チラシの内容等の見直しを行い、運行事業者とともに周知徹底を図る。</p> <p>【今後の目標値について】</p> <p>・毎月の利用者数の変動に注視しながら慎重に目標値の検討を行い、新年度から開校される黒保根学園に対し、利用の促進を図る。</p> |

| | |
|---------------------------------|--|
| 地方運輸局等における 二次評価結果 (関東運輸局) | <p>免許返納促進の取組などは評価出来るが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響もあり1日当たりの平均利用者数の目標は未達成となった。・利用が伸び悩んだ理由の分析結果を踏まえて、今後の施策の検討を進めていただきたい。また、第三者評価委員会での有識者からの助言(下記)を、今後の検討の参考としていただきたい。</p> <ul style="list-style-type: none">・移動の目的をつくることが、利用者を増やすための第一歩。当該交通サービスは目的ではなく手段であり、どういった目的のためのサービスなのか(例:まちの活性化、高齢者の外出促進など)を今一度明確にしたうえで目的達成のための施策を多角的に検討していただきたい。・利用者向けマップや時刻表については、お店(目的地)で掲示するまたは配付するなど、利用者の気を引くような仕掛け、工夫に心がけていただきたい。 |
|---------------------------------|--|

令和3年度 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和4年1月20日

協議会名: 渋川市地域公共交通会議

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

| ①補助対象事業者等 | ②事業概要 | ③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況 | ④事業実施の適切性 | ⑤目標・効果達成状況 | ⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む) |
|-----------|--|---|--------------------------------|---|--|
| 関越交通株式会社 | 系統名 渋川駅～渋川医療センター線 運行時間 7時55分～18時55分(平日) 10時10分～18時55分(土日祝) 運行本数 平日12往復便 土日祝6往復便 運賃 100円 | <ul style="list-style-type: none"> ・渋川医療センターを受診した人が立ち寄る処方箋薬局の前に停留所を設置した ・渋川医療センターや周辺薬局へ時刻表を掲示した ・改訂した路線バスマップを作成し、関係各所に配布した ・新型コロナウイルス感染予防対策とその周知を行った ・当該路線に使用する1車両をノンステップバスに更新する(現在準備中) ・JRの時刻表改正の影響は受けなかったが、他路線との接続性については依然として課題である ・バスの利用促進やバス関連情報を広報紙や市HP、市SNSで発信した | A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された | C 年間利用者目標18,000人、1便あたり4.9人に対し、利用実績11,239人、1便あたり3.0人という結果であり、目標を大幅に下回った。 【要因】 当計画期間を通して、新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言やまん延防止等重点措置の発出、警戒度の変更が度重なり、人流の抑制が続いたことが主たる要因である。 また、自宅から直接目的地に行くことが日常となっている住民が多いため、乗り継ぎがある公共交通には抵抗感を持っていることも要因の1つである。 【参考】 実績運行回数3,654回 | <ul style="list-style-type: none"> ・車両に感染症対策(抗ウイルス・抗菌コーティングや空気清浄機の設置など)を行い、それを周知することで、利用者に安心して乗車してもらえるように努める ・感染症対策及び乗り継ぎ負担の軽減として、非接触型決済機器(交通系ICカード)の導入を進め、広報媒体でICカード利用促進の周知を行う。また、分かりやすい路線図等を配布し、利用者が持つバス利用や乗り継ぎに対する抵抗感を和らげるよう努める ・JRのダイヤ改正に合わせ、鉄道や他路線(渋川駅～高崎駅線等)との接続を考慮した利用者目線の時刻表を検討する |

| | |
|-------------------------|--|
| 地方運輸局等における二次評価結果(関東運輸局) | <p>新型コロナウイルス感染症の影響により目標達成には至らなかったが、引き続き利用促進・利便性向上等の取組を進めていただきたい。</p> <p>第三者評価委員会での有識者からの助言(下記)を、今後の検討の参考としていただきたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・持続可能な地域公共交通を目指すうえで、財政や人的資源などの制約がある中で、いかに収支を意識しながら、かつ公共性を保持していくかがポイント。利用者を起点としながら、行政、事業者の三位一体となりサステナビリティを確保していくことが重要。 ・バス事業全体として運賃が硬直的という特徴があるが、サステナビリティを確保していくために適切な運賃、他の交通手段との比較や利用者の許容度を確認しながら、金額の設定に努めてほしい。 ・移動の目的をつくるのが、利用者を増やすための第一歩。当該交通サービスは目的ではなく手段であり、どういった目的のためのサービスなのか(例:まちの活性化、高齢者の外出促進など)を今一度明確にしたうえで目的達成のための施策を多角的に検討していただきたい。 ・利用者向けマップや時刻表については、お店(目的地)で掲示するまたは配付するなど、利用者の気を引くような仕掛け、工夫に心がけていただきたい。 |
|-------------------------|--|

令和3年度 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和4年1月17日

協議会名: 沼田市地域公共交通会議

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

| ①補助対象事業者等 | ②事業概要 | ③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況 | ④事業実施の適切性 | ⑤目標・効果達成状況 | ⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む) |
|-----------|---|--|------------------------|---|--|
| 関越交通株式会社 | 路線名: 沼須線 起点: 沼田駅 終点: 利根中央病院 運行日数: 246回 運行回数: 3, 690. 0回 | アンケート調査の結果では、移動目的地に利根中央病院を挙げる回答が多かったが、移動手段は自家用車が大半であった。また、現在の運行を不便と感じている方が多かった。利用者が安心して利用できる公共交通の実現に向けて、沼田市委託路線バス車両に対する抗菌・抗ウイルス加工整備事業や、高性能空気清浄機等導入事業に対して支援をする制度を実施した。 沼田市委託路線バス車両のデザイン刷新を行い、利用促進を図った。 | A 計画どおり事業は適切に実施された。 | ●運行費補助 1. 輸送容量【達成】 [目標数値]195人 [結果数値]195人 2. 1日あたりの乗車人数(人/日)【未達】 [目標数値]32人 [結果数値]22人 3. 収支割合【未達】 [目標数値]19.2% [結果数値]15.3% 見込んだ以上に新型コロナウイルスの影響が大きかった。 通院支援利用者が大きく増加しており、通院者はそちらへ流れていると分析できる。 目標を下回った指標はあったが、バス停別の乗降調査から病院の最寄りバス停に乗降が集中していることから、本事業による医療ニーズへの充足を図るという効果は認められる。 ●車両減価償却費等補助 運行の継続については目標どおり達成した。 | 利根中央病院の通院者は、通院支援の利用によって通院手段が確保されていることが分析できた。 また、住民アンケート調査結果や住民参加型ワークショップの結果からは、沼田市委託路線バスの運行に対して不便を感じているという声が大きかった。 以上のことから、沼須線を含む沼田市委託路線全体の見直しを行う。 |

| | |
|---------------------------------|--|
| 地方運輸局等における 二次評価結果 (関東運輸局) | <p>利用者が安心して利用できる公共交通の実現に向けた取組や、利用促進の取組を行い、輸送容量の目標は達成されたことを評価する。しかし、1日あたりの乗車人数の目標については未達成となった。利用が伸び悩んだ理由を分析し、その結果を踏まえて今後の施策の検討を慎重に進めていただきたい。また、第三者評価委員会での有識者からの助言(下記)を、今後の検討の参考としていただきたい。</p> <ul style="list-style-type: none">・ 持続可能な地域公共交通を目指すうえで、財政や人的資源などの制約がある中で、いかに収支を意識しながら、かつ公共性を保持していくかがポイント。利用者を起点としながら、行政、事業者の三位一体となりサステナビリティを確保していくことが重要。・ 移動の目的をつくるのが、利用者を増やすための第一歩。当該交通サービスは目的ではなく手段であり、どういった目的のためのサービスなのか(例:まちの活性化、高齢者の外出促進など)を今一度明確にしたうえで目的達成のための施策を多角的に検討していただきたい。 |
|---------------------------------|--|

令和3年度 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和 4年 1月20日

協議会名: 甘楽町地域公共交通会議

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

| ①補助対象事業者等 | ②事業概要 | ③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況 | ④事業実施の適切性 | ⑤目標・効果達成状況 | ⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む) |
|-------------|------------------------|---|----------------------|--|---|
| 有限会社 昭和タクシー | 町内全域における デマンドタクシー運行 | 地方運輸局等による前回の二次評価結果を踏まえ、利用者減少の要因を分析したところ、病院への通院及び大型スーパーへの日用品の購入が主な利用目的となっており、コロナウイルス感染症が拡大する前の令和元年と比較すると、通院のための利用者数は減少していることがわかった。コロナウイルス感染症拡大も一時的に落ち着く時期もあったが、前年と比較すると利用者数は減少傾向となっている。また、キャッシュレス決済導入については、新規登録者に対して登録証を送付する際に、パンフレットを同封し周知を図った。町HPでは混雑する時間帯を避けて利用予約をしていたように促した。 | A 計画どおり、事業は適切に実施された。 | C 目標利用者数8,000人/年に対して、利用実績は6,638人/年と数値目標を大きく下回った。また収支率についても約11%となり、目標の14%を下回る結果となった。イベントの中止や店舗の閉鎖により利用者数が減少したことが原因と考えられる。 | イベントの中止や店舗の閉鎖により利用者数が減少したことが考えられるため、利用者増加のため更なる事業周知を町HP等で実施し、広域的な利用についても検討していきたい。 |

| | |
|---------------------------------|--|
| 地方運輸局等における 二次評価結果 (関東運輸局) | <p>新型コロナウイルス感染症拡大の影響により利用者数及び収支率の目標が未達成となったものの、利用者減少の要因の調査・分析を行ったことを評価する。利用が伸び悩んだ理由の分析結果を踏まえて、今後の施策の検討を引き続き進めていただきたい。また、第三者評価委員会での有識者からの助言(下記)を、今後の検討の参考としていただきたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・移動の目的をつくるのが、利用者を増やすための第一歩。当該交通サービスは目的ではなく手段であり、どういった目的のためのサービスなのか(例:まちの活性化、高齢者の外出促進など)を今一度明確にしたうえで目的達成のための施策を多角的に検討していただきたい。 ・利用者向けマップや時刻表については、お店(目的地)で掲示するまたは配付するなど、利用者の気を引くような仕掛け、工夫に心がけていただきたい。 |
|---------------------------------|--|

令和3年度 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和 4年 1月 26日

協議会名:前橋市地域公共交通会議

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

| ①補助対象事業者等 | ②事業概要 | ③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況 | ④事業実施の適切性 | ⑤目標・効果達成状況 | ⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む) |
|------------|---|-------------------------|---------------------------------|---|---|
| 有限会社赤城タクシー | <p>【デマンド交通「城南あおぞら号」】 運行区域:城南地区 運行日:月曜～土曜 運行時間帯:8時30分～16時30分 運行車両:ハイエース 運賃:大人300円、子ども150円</p> | 該当なし | A 事業が経過に位置付けられたとおり、適切に実施された。 | C 路線年間延べ利用者数 目標値:3,130人、実績値:1,115人 新型コロナウイルス感染症の影響により、利用者が外出を控えたことや約半数のバス停しか利用されていないことから利用者の乗りたい場所、下りたい場所にバス停が設置されていないことが考えられる。 結節・乗換えポイントの整備 目標値:3箇所、実績値:3箇所 バス待ち改善に取り組むことができたが、利用者の増加につながっていないことから、PR等の周知が出来ていないことが考えられる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・バス車内の消毒、換気、運転手のマスク着用の徹底など感染症対策への取り組みを広報誌等での周知を図る。 ・利用されていないバス停を調査し、利用者の増加と利便性向上に向けたバス停の移設等の見直しを検討 ・バス待ち環境を改善の取り組みを広報誌等での周知を図る。 ・身体障害者の割引運賃の検討 ・運行時間の検討 |

| | |
|-------------------------|--|
| 地方運輸局等における二次評価結果(関東運輸局) | <p>路線年間延べ利用者数の目標値について未達成となった。・利用が伸び悩んだ理由の分析結果を踏まえて、今後の施策の検討を進めていただきたい。また、第三者評価委員会での有識者からの助言(下記)を、今後の検討の参考としていただきたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・持続可能な地域公共交通を目指すうえで、財政や人的資源などの制約がある中で、いかに収支を意識しながら、かつ公共性を保持していくかがポイント。利用者を起点としながら、行政、事業者の三位一体となりサステナビリティを確保していくことが重要。 ・移動の目的をつくるのが、利用者を増やすための第一歩。当該交通サービスは目的ではなく手段であり、どういった目的のためのサービスなのか(例:まちの活性化、高齢者の外出促進など)を今一度明確にしたうえで目的達成のための施策を多角的に検討していただきたい。 ・利用者向けマップや時刻表については、お店(目的地)で掲示するまたは配付するなど、利用者の気を引くような仕掛け、工夫に心がけていただきたい。 |
|-------------------------|--|